



(写真) 1 旧土岐家住宅洋館 2 旧沼田貯蓄銀行 3 生方記念文庫 4 歴史資料館 5 旧生方家住宅 6 旧沼田教会記念会堂 7 歴史的施設のお得な周遊券

◀沼田公園内にある旧生方家住宅から上之町の歴史的施設まで約1キロ。徒歩15分



特集 まるっと周遊 歴史的建造物を中心市街地へ

# 大正ロマンのまちづくり

中心市街地の活性化に向け、市は市役所が入る複合施設「テラス沼田」の周辺で、歴史的建造物を核としたまちづくりを進めています。国登録有形文化財の旧土岐家住宅洋館などを移築・集約し、大正ロマンをイメージした街並みを整備して魅力を創出します。

問合せ 都市計画課街なか対策室 ☎内線4125、文化財保護課文化財保護係 ☎内線2602

なげます。

今後は、新型コロナウイルスの収束を見据え、地元関係団体と連携し、同エリアを舞台に大正期の衣装を着るイベントやお茶会、真田氏ゆかりの沼田公園から中心部を巡る「まちあるき」などを計画。テラス沼田内の歴史資料館や沼田公園内の沼田市観光協会と協力しながら、真田氏や土岐氏の歴史文化を発信し、旅行会社と市内観光資源を巡るツアーを企画するなど、一帯の回遊性向上につ

なげます。

今後は、新型コロナウイルスの収束を見据え、地元関係団体と連携し、同エリアを舞台に大正期の衣装を着るイベントやお茶会、真田氏ゆかりの沼田公園から中心部を巡る「まちあるき」などを計画。テラス沼田内の歴史資料館や沼田公園内の沼田市観光協会と協力しながら、真田氏や土岐氏の歴史文化を発信し、旅行会社と市内観光資源を巡るツアーを企画するなど、一帯の回遊性向上につ

同エリア内には、名誉市民の歌人、生方たつゑ（1904～2000年）の著書などを所蔵した生方記念文庫があり、整備事業の第1弾として、明治、大正期に使われた県指定重要文化財、旧沼田貯蓄銀行を同文庫近くに移築しています。本計画は、本町通りで実施している土地区画整理事業に併せて整備するもので、魅力的な都市空間の形成を目指し、歴史や文化に根ざした快適で活力あるまちづくりを推進しています。

旧久米邸は、歴史的建造物として評価され、1912年ごろの建築といわれています。建物が解体される予定となり、地元住民や専門家らでつくる保存プロジェクトからの働きかけなどを通して、移築を決定しました。整備費用については、ふるさと納税の仕組みを活用し、移築にかかる資金を募るクラウドファンディングを12月末まで行っています。

大正ロマンをテーマに整備を進めているのは、テラス沼田などが並ぶ本町通り上之町周辺エリア。今春、最後の沼田藩主の子である土岐章子爵が建てた旧土岐家住宅洋館が、沼田公園から移築を終えています。年内には、大正時代に建てられた旧沼田教会記念会堂の移築も完了し、名誉市民で沼田公園を整備した久米民之助（1861～1931年）の旧邸宅を東京都渋谷区から移築することも決定しました。

街並み整備し魅力創出



市に移築が決まった旧久米邸（東京都渋谷区）